

*Sonus faber*®

CONCERTINO G4

HERITAGE COLLECTION





# CONCERTINO G4

ソナス・ファベールは、1983年、イタリア北部ヴィチエンツァに設立され、木材や革などの自然素材を縦横に駆使して流麗なデザインと音響設計に活かす卓越の技、そしてそこから生まれる甘美な音楽性が、世界中から高く評価されてきました。スピーカー・テクノロジーの進化を次々と反映しながらも、その姿勢に絶えず通奏しているのは、あたたかな血の通ったクラフトマンシップ。熟練職人の叡智、“Made in Italy”の誇りがソナス・ファベールの基本です。

創業者フランコ・セルブリンがことのほか愛した“Concertino”に始まり、クラシックなデザインを継承する“Heritage”コレクションにおいて第4世代へと進化した“Concertino G4”もまた、小型2ウェイというブランドの原点、誇り高きものづくりの歴史に向けたオマージュに他ならないのです。



Concertino (1994)



Concertino Home (2000)



Concertino Domus (2005)

# Heritage reborn with modern advancements

伝統をふまえた革新。創業者が愛した銘品の、新たな物語が始まる。

1994年、ソナス・ファベールのスピーカーが持つ音楽心や、それを可能にする繊細な技を幅広いリスナーに知っていただくべく、“Concertino”（コンチェルティーノ）が開発されました。

程よいサイズ感や類い稀な音質において妥協することなく、ソナス・ファベールならではのクオリティーを追求したこのモデルは、その後、ミッド・ウーファーを大口径化した第2世代“Concertino Home”、流麗なリユート・フォルムの第3世代“Concertino Domus”へと進化していきました。

第4世代となる“Concertino G4”は、第1世代のキャビネット・デザインをもとに、長い歴史の中で蓄積されてきたテクノロジーのレガシーと、これからの小型スピーカーに求められる革新的なアプローチを惜しみなく導入。ソナス・ファベールの礎をつくったマエストロへの敬意と未来的アプローチを融合する入魂のモデルとなっています。

銘品の新たなストーリーが、ここから始まります。



# Respect for tradition and passion for innovation

伝統のフォルムを受け継ぎつつ、今日的な  
スピーカー像を追求したイノベティブなデザイン。

## ▶木の持つ力を活かす伝統の手法

“Concertino G4”のキャビネットは、第1世代に採用された台形デザインを継承。フロント・バッフルの傾斜によって高域と中・低域のタイム・アラインメントを最適化する一方、平行面を排することで内部定在波を低減し、純度高い再生音を獲得しています。

1983年の創業以来、ソナス・ファベールは変わることなく木という素材を愛し、その力を活かしてきました。その伝統を受け継ぐサイド・パネルはウォルナット無垢材によって構成され、木目の美しい風合いを活かしたのみならず、厚みに変化を持たせることで構造的



音響的に優れた特性と優雅なデザイン性を両立するウォルナット無垢材をサイド・パネルに使用。

な剛性を高めてキャビネット全体の不要振動要素を抑制するなど、音響設計上きわめて重要な役割を果たしています。

## ▶コルク材を活用するイノベーション

キャビネットは、このサイド・パネルによって、MDF製フロント・バッフルとセンター・シャーシを挟み込む構造になっていますが、“Concertino G4”では、センター・シャーシそのものを再生コルク材で成型するという、革新的な設計を導入しています。

コルク材はその物性上、内部共振の低減に有効であるだけでなく、内部吸音材などを必要最低限に抑えられる効果もあります。また、柔軟性、成型性に優れ、他の素材では難しい形状も自在に形成できるため、音響上の理想を実現しやすいことも大きな特徴です。ソナス・ファベールでは、既に、スピーカー史

の金字塔とも言うべきフラッグシップ・システム“Suprema”、“Sonetto”コレクション第2世代の“Sonetto V G2”、“Sonetto VIII G2”の中・高域チェンバーにコルク材を採用、ドライバー・ユニットのパフォーマンスが劇的に向上していますが、“Concertino G4”では、キャビネットのメイン構造部をコルク材で構成、文字通りシステム全体の音響性能を支える設計になっています。コルク材がもたらす共振要因の低減、優れた吸音特性といった理想的な音響条件が、ドライバー・ユニットの分解能向上、帯域間のシームレスなつながりを実現、そのポテンシャルは最大限に引き出されることになります。



センター・シャーシ全体を再生コルク材で成型する革新的な構造。ドライバーの性能を最大限に引き出します。

## ▶環境配慮という新たな方向性

木の力を追求するだけでなく、天然レザーを組み合わせるなど素材それぞれの特性を音響設計に巧みに活かす独自のキャビネット設計もまた、ソナス・ファベールならではの伝統です。その蓄積されたノウハウをふまえつつ、“Concertino G4”では、ソナス・ファベール初の試みとして植物由来のレザーをフロント・バッフルとセンター・シャーシに採用、優れた音響効果と美しいデザイン性を両立することに成功しました。

これは、代替レザーなどを開発するイタリアのスタートアップ企業Ohoskin社が特許を持つ新素材で、シチリア産のオレンジやウチワサボテンなどの植物を原材料にリサイクル成型されています。優雅な質感、風合いの美しさ、高い耐久性はもちろん、環境性能にも優



サステナブルな植物由来レザーを採用。スピーカー・デザインの新たな方向性を指し示します。

れたサステナブルな素材である点で、まさしく新時代のスピーカーにふさわしい選択であり、ソナス・ファベールのものづくりの新たな方向性と言えます。

## ▶バスレフ・ポートの新設計

“Concertino”各世代は、低域の力感、全帯域の一体感を獲得すべくフロント・バスレフ方式を採用してきましたが、“Concertino G4”は、ポートを背面に設けることによりドライバー・ユニットの背圧を最大限に活かし、低域レスポンスの量感向上と広大な音場の創成を図っています。

また、従来のプラスチック製ダクトをペーパー製に変更、ウォルナット無垢材のポート開口部へ自然につながる設計としています。



背面に設けたバスレフ・ポート。開口部にはウォルナット無垢材を使用し、スムーズな音波拡散を実現します。

# A project at the intersection of tradition and experimentation

## サイズを超えた力感と繊細な表現力を生み出す カスタムメイドの新世代ドライバー・ユニット。

### ▶ 伝統の伸びやかな高域再現性

“Concertino G4”では、銘品の系譜を今日的な形でよみがえらせるプロジェクトにふさわしく、2基のドライバー・ユニットもあらためてカスタム・メイドとし、入念なマニュアルファクチャリングを施しています。

まず、高域を担うのは、ソナス・ファベールの代名詞とも言える28mm口径アロー・ポイントD.A.D.シルク・ドーム。

D.A.D.(Damped Apex Dome)テクノロジーは、ドームの頂点を絶妙にダンピングする



伝統のアロー・ポイントD.A.Dテクノロジーを継承したシルク・ドームから澄명한高域再現が生まれます。

ことによってドームの逆相挙動を制御し、音波伝播を最適化する、ソナス・ファベールの代名詞とも言えるノウハウで、シルク・ドームならではの柔らかく聴き心地がよく、伸びやかに透明感あふれる上質な高域再生を実現します。

### ▶ ナチュラルでパワフルな中・低域

聴く人の心に届く感動の音楽再生にとって中核とも言えるべき中域と、歯切れよい低域再生を担うミッド・ウーファーは、ペーパー・パルプ・コーンを採用した135mm口径カスタム・メイド・ユニット。ダイアフラムは、植物由来のナチュラルな素材を自然乾燥・圧縮して物性を均質化、分割振動など音質阻害要因を素材レベルから排除しています。

軽量でありながら強靱性をも兼ね備えたこのダイアフラムをドライブするのは強力なフェライト・マグネット磁気回路で、贅沢な5インチのロング・スロー・ボイスコイルとともに、繊細にしてパワフルでダイナミックな再現性を発揮します。

### ▶ 音の純度を守るバスケット設計

このミッドウーファーを保持するフレーム・バスケットはアルミニウム・ダイキャスト製で、ダイアフラムのダイナミックなモーションを万全に受けとめます。その強靱性に加えて特徴的なのは、非対称で有機的な形状に成型されていること。

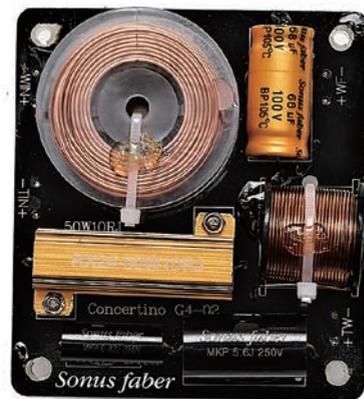
“F.E.M.”(Finite Element Method:有限要素法)と呼ばれる構造解析技術を駆使して開発されたその形状は、ダイアフラムの動作に伴う振動を分散し、共振を排除する上

で効果的であるのみならず、ダイアフラム背圧による空気の流れを阻害しないよう通気性も万全に確保できるため、ダイアフラムの可動域が大幅に向上します。

さまざまなメリットをそなえたこのバスケット設計もまた、近年のソナス・ファベールの革新的な研究成果の一つで、“Stradivari G2”、“Sonetto G2”、さらには超大型プロジェクト“Suprema”という、ここ数年のマスターピースにも導入されているイノベーション。“Concertino G4”においてソナス・ファベールは、小型2ウェイという原点を最新テクノロジーの惜しみない導入によってアップデートし、キャビネット・サイズを超える豊かな音場、ホログラフィックな音楽空間の創成に成功しています。

### ▶ 位相整合技術による豊かな音場

クロスオーバー・ネットワーク回路は、近年のソナス・ファベールが注力する“フェーズ・コヒーレント”テクノロジーに基づいており、厳選のパーツをハンドクラフトで組み上げる入念なマニュアルファクチャリングと相俟って、高精度な位相アライメントと、より明瞭で三次元的な音場創成を実現します。



濃密で広大な音場を実現する鍵となるクロスオーバー・ネットワーク回路。厳選パーツを熟練職人が丁寧に組み上げ、試聴を重ねてチューニングされています。



“Heritage”コレクションの伝統に則った真鍮製ネームプレートとパイアンプ駆動に対応する入力端子。



フェライト・マグネット磁気回路、5インチのロング・スロー・ボイスコイルをそなえたミッドウーファー。



ミッド・ウーファーをリジッドに保持、共振低減、通気性確保などに有効な形状に成型されたバスケット。

# The accumulation of decades of experience, craftsmanship and innovation

## ▶新時代を創造するR&Dチーム

1983年の創業以来、ソナス・ファベールは、ナチュラルで香り高い、唯一無二の音を目指し、設計から組み上げ、試聴とチューニングに至るまで徹底したハンドメイドと丁寧なもののづくりを貫いてきました。

その伝統を忠実に継承する一方で、新たなスピーカー・テクノロジーを次々と開発、スピーカーの歴史を革新してきたのもまた、ソナス・ファベールの歴史です。

今日、ソナス・ファベールでは、最新テクノロジーを積極果敢に導入したスピーカーの

デザイン開発、素材や構造の研究、ドライバー・ユニット設計、そして最終調整に至るあらゆるフェーズをヴィチェンツァの本社工場にて完結させるべく、R&Dチームのもとでスピーカーづくりを進めています。

その中心にいるのがチーフ・デザイナーのリヴィオ・ククツァ。超大型フラッグ・シップ・モデル“Suprema”や“Stradivari G2”、“Sonetto G2”など近年の輝かしいプロジェクトは、伝統をふまえつつ、常にスピーカーの新たな進化を志向し、ソナス・ファベールの今と次代を担うククツァの尽きせぬクリエイティビティから生み出されたものです。



## Stand Iron G2

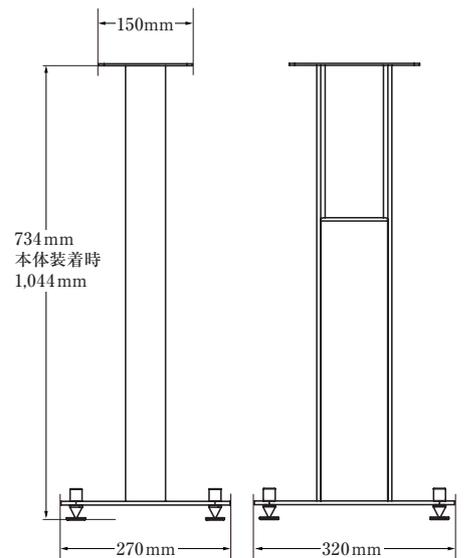
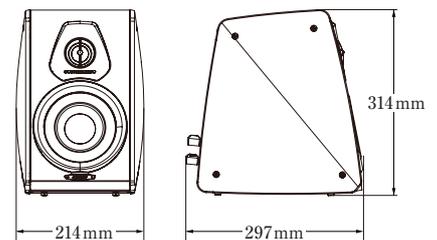
専用スタンド“Stand Iron G2”は、高強度な鉄製の支柱を採用。スリムでありながらきわめてリジッドに本体を支えます。また、本体のサイド・パネルと同様、ウォールナット材も配置することで本体とのデザイン上の一体感を獲得しています。



## Specifications

●形式	2ウェイ2スピーカー バスレフ方式ブックシェルフ型
●使用ドライバー・ユニット 高域	28 mm口径 アロー・ポイントDAD シルク・ソフトドーム型
中・低域	135 mm口径コーン型 (ナチュラル・ファブリック)
●周波数特性	60 ~ 25,000 Hz
●出力音圧レベル	85 dB SPL (2.83 V/ 1m)
●公称インピーダンス	4 Ω
●クロスオーバー周波数	1,700 Hz
●スピーカー端子	バイワイヤリング対応 (HIGH/LOW)
●重量	6.6 kg/本 スタンド装着時：14.5kg/本

### ●外形寸法



\*“Concertino G4”と“Stand Iron G2”をねじ等で連結・固定することはできません。

●仕様および外観は、改良のため予告なく変更されることがありますのでご了承ください。 ●弊社の定める日本国内の希望小売価格に、配送料は含まれません。